

三島の源兵衛川が「世界水遺産」内定

三島市中心部を流れる源兵衛川が、民間シンクタンク「世界水会議」（本部・フランス）が主催する「世界水遺産」に登録されることが内定した。同市のNPO法人「グラウンドワーク（GW）三島」が十六日、明らかにした。三月にブラジルの首都ブラジリアで開

環境再生、取り組み評価



世界水遺産の登録が内定した源兵衛川＝16日、三島市内で（佐久間博康撮影）

かれる「世界水フォーラム」で表彰を受ける。日本新潟県の関川水系土地改良

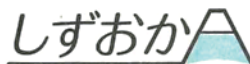
区が内定しているという。「世界水遺産」は、世界水会議が二〇一六年の創立二十周年を記念し、国際機関「国際かんがい排水委員会」（本部・インド）と協力して創設した顕彰制度で、今回初めて登録が行われる。自然環境が共生してきた水管理の仕組みが対象で、百年以上の歴史や地域コミュニティの知恵や努力でつくられたものであることなどが条件となっている。

源兵衛川は、GW三島と中郷用水土地改良区の連名で申請。源兵衛川は、室町時代後期に築造された全長一・五キロのかんがい用水路で、「水の都・三島」のシンボル。高度経済成長期には企業が地下水をくみ上げたのが原因でわき水が激減し、汚染されたが、一九九〇年代に親水公園として整備され、市民らが一体となって美しい水辺環境を再生したことで知られる。歴史や地域を挙げた取り組みが評価されたとみられる。

（佐久間博康）



中日新聞東海本社
浜松市東区築新町45番地
〒435-8555 電話 053(421)7711



2018年(平成30年)
1月17日
(水曜日)